

**日本学会議法人化法案の廃案めざす
緊急シンポジウム
龍谷大学大宮キャンパス
2025.5.11**

学問における批判性と学会議

永田 和宏
京都大学・京都産業大学名誉教授

学問とは何か？

学習(学修) 「如何に、正しく答えられるか」

学問 「如何に、問うことができるか」

学問： 学んで、問いなおす

学びて思はざれば即ち罔し、
思ひて学ばざれば即ち殆し 「為政第二」

子曰く 憤せずんば啓せず。悱せずんば発せず。
一隅を挙ぐるに 三隅を以って反らざれば
則ち復たせざるなり 「述而第七」

学問とは何か？

学習(学修) 「如何に、正しく答えられるか」

学問 「如何に、問うことができるか」

学問： 学んで、問いなおす

学びて思はざれば即ち罔し、
思ひて学ばざれば即ち殆し 「為政第二」

子曰く 憤せずんば**啓**せず。悱せずんば**発**せず。 **啓発**
一隅を挙ぐるに 三隅を以って反らざれば
則ち復たせざるなり 「述而第七」

科学的であるとはどういうことか？

- ・ 反証可能性の担保されているもののみを科学と見なす

反証主義：反証可能性 Karl R. Popper
「科学的発見の論理」

科学理論は反証可能性を持ちつつ未だ反証されていない
仮説の総体

〈真理〉というものは客観的には存在しない

- ・ 学問には、常に先行研究、理論への検証が必須

その仮説は本当か？と問うこと、疑問を持つこと

〈批判性〉のないところに、科学は成立しない

生命の自然発生説

アリストテレス (BC384-322、ギリシア)
「動物誌」、「動物発生論」

ミツバチ・ホタル
ウナギ・エビ

草の露から
海底の泥から

ヤン・ファン・ヘルモント (1579-1644、フランドル地方)
錬金術師、医者

小麦の粒と汗で汚れたシャツ ⇒ 倉庫の壺 ⇒
ハツカネズミが発生

死んだ魚を放置しておくとウジ虫が湧く

ウジ虫(小さな虫などの生物)は、自然発生する！！

生命自然発生説の否定の歴史

フランチェスコ・レディ(1626-1697、イタリア)
内科医、博物学者、詩人

A、B二つのビンに死んだ魚を入れ、
Aは蓋をせず、Bはガーゼで覆う

⇒ Bにはウジがわかなかった

⇒ ハエが卵を産んだ 生命は卵から生じる



自然発生
しない！

ジョン・ニーダム(1713-1781、イギリス)
生物学者、神学者、司祭

マトンのスープを煮沸し、ビンの口をコルクで栓

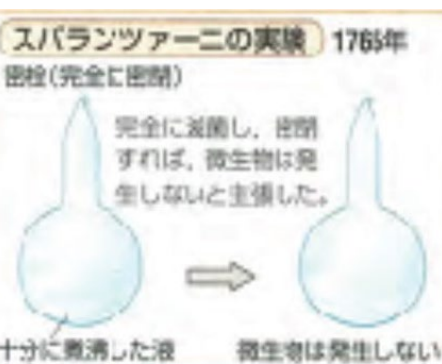
⇒ 微生物が発生 微生物は自然発生する



自然発生
する！

生命自然発生説の否定の歴史

ラザロ・スパランツァーニ(1729-1799, イタリア)
博物学者、実験動物学の祖



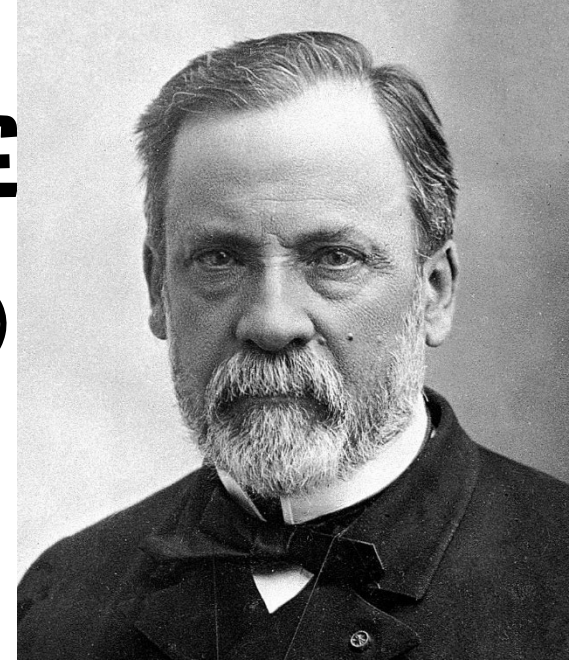
フラスコのスープを加熱殺菌し、
その口を熱で溶接密封 ⇒ 微生物は自然発生しない
フラスコ壁面に微小な亀裂 ⇒ 微生物の発生
空気中の微生物の侵入によるもので自然発生ではない

ニーダムスの反論

発生に必要な空気中の成分が供給されなかった



生命自然発生説の否定



ルイ・パスツール(1822-1895, フランス)

生化学者、細菌学者、近代細菌学の父

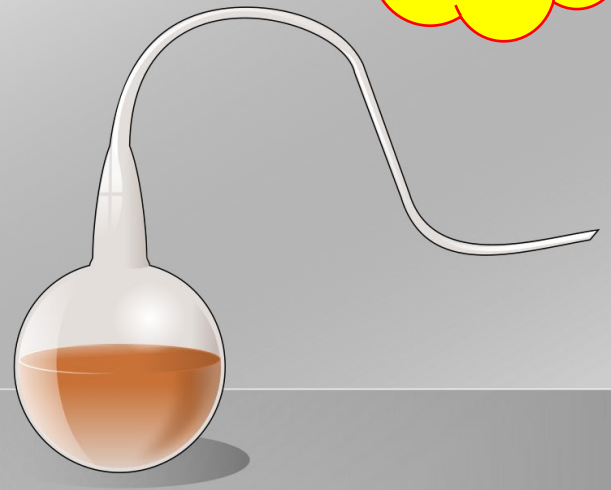
- ・分子の光学異性体の発見
(右旋性、左旋性)
- ・酵母によるワインの醗酵
- ・ワインなどの低温殺菌法
(パスチャライゼーション)
- ・狂犬病などのワクチンの開発

**自然発生
しない!**

1861年

「自然発生説の検討」

**白鳥の首フラスコを用いた
微生物の自然発生説の否定**



科学的であるとはどういうことか？

- ・ 反証可能性の担保されているもののみを科学と見なす

反証主義：反証可能性 Karl R. Popper
「科学的発見の論理」

科学理論は反証可能性を持ちつつ未だ反証されていない
仮説の総体

〈真理〉というものは客観的に存在しない

- ・ 学問には、常に先行研究、理論への検証が必須

その仮説は本当か？と問うこと、疑問を持つこと

〈批判性〉のないところに、科学は成立しない

「日本学術会議」新会員推薦拒否問題 2020.9

日本学術会議

学術会議会員任命拒否問題の歴史的な意味
岡田正則（芦田定道ら「学問と政治」岩波新書）

- 1948年 日本学術会議法の制定**
- 1949年 日本学術会議の設置（選挙制）**
- 1950年 声明「戦争を目的とする科学の研究には絶対従わない決意の表明」**
- 1967年 声明「軍事目的のための科学研究を行なわない声明」**
- 1983年 学術会議法改正（選挙制から学協会推薦制へ）**
- 2004年 学術会議法改正（学協会推薦制からco-optation方式へ）**
- 2015年 安保関連法（集団的自衛権）制定、防衛装備庁の設置、安全保障技術研究推進制度の創設**
- 2017年 声明「軍事的安全保障研究に関する声明」（3月）**
- 2018年 内閣府内部文書作成・内閣法制局了解（9－11月）、補充人事拒否（10月）**

日本学術会議

学術会議会員任命拒否問題の歴史的な意味
岡田正則（芦田定道ら「学問と政治」岩波新書）

1948年 日本学術会議法の制定

1949年 日本学術会議の設置（選挙制）

**1950年 声明「戦争を目的とする科学の研究には絶対従わない
決意の表明」**

1967年 声明「軍事目的のための科学研究を行なわない声明」

1983年 学術会議法改正（選挙制から学協会推薦制へ）

2004年 学術会議法改正（学協会推薦制からco-optation方式へ）

**2015年 安保関連法（集団的自衛権）制定、防衛装備庁の設置、
安全保障技術研究推進制度の創設**

2017年 声明「軍事的安全保障研究に関する声明」（3月）

**2018年 内閣府内部文書作成・内閣法制局了解（9－11月）、
補充人事拒否（10月）**

日本学術会議

学術会議会員任命拒否問題の歴史的な意味
岡田正則（芦田定道ら「学問と政治」岩波新書）

1948年 日本学術会議法の制定

1949年 日本学術会議の設置（選挙制）

**1950年 声明「戦争を目的とする科学の研究には絶対従わない
決意の表明」**

1967年 声明「軍事目的のための科学研究を行なわない声明」

1983年 学術会議法改正（選挙制から学協会推薦制へ）

2004年 学術会議法改正（学協会推薦制からco-optation方式へ）

**2015年 安保関連法（集団的自衛権）制定、防衛装備庁の設置、
安全保障技術研究推進制度の創設**

2017年 声明「軍事的安全保障研究に関する声明」（3月）

**2018年 内閣府内部文書作成・内閣法制局了解（9－11月）、
補充人事拒否（10月）**

日本学術会議

学術会議会員任命拒否問題の歴史的な意味
岡田正則（芦田定道ら「学問と政治」岩波新書）

1948年 日本学術会議法の制定

1949年 日本学術会議の設置（選挙制）

**1950年 声明「戦争を目的とする科学の研究には絶対従わない
決意の表明」**

1967年 声明「軍事目的のための科学研究を行なわない声明」

1983年 学術会議法改正（選挙制から学協会推薦制へ）

2004年 学術会議法改正（学協会推薦制からco-optation方式へ）

**2015年 安保関連法（集団的自衛権）制定、防衛装備庁の設置、
安全保障技術研究推進制度の創設**

2017年 声明「軍事的安全保障研究に関する声明」（3月）

**2018年 内閣府内部文書作成・内閣法制局了解（9－11月）、
補充人事拒否（10月）**

**2020年 第25期会員任命に際し、内閣総理大臣が6人を任命
拒否（10月）**

日本学術会議新会員任命拒否問題：経緯

- 8.31** 学術会議が新会員候補105名の推薦名簿を内閣府に提出
- 9.16** 菅義偉内閣発足
- 9.24** 内閣府人事課が6人を除外し、99人を任命する決裁文書を起案
- 9.28** 菅首相が新会員について決裁
学術会議から、除外された6人へ通知
- 10.1** 「しんぶん赤旗」が「菅首相会議人事に介入」の第一報
- 10.2** 学術会議幹事会で「任命拒否理由の開示と6人の任命を求める要求書」
を政府に提出する決議
- 10.5** 菅首相、内閣記者会で「前例踏襲でいいのか」「総合的俯瞰的な活動を
確保する観点から、今回の任命について判断した」と発言
- 10.8** 2018年に、学術会議の補充人事の人選を官邸が拒否していた事実の判明
- 10.9** 菅首相、「推薦名簿は見えていません」と発言

「学問の自由」どころか「学問」そのものの否定だ

永田和宏 「学問の自由が危ない」(晶文社)

1. 学問は批判性を欠いては成立しない

2. 専門知へのリスペクトの欠如

日本学術会議法

第7条第2項 「会員は、第17条の規定による推薦に基づいて、内閣総理大臣が任命する」

第17条 「日本学術会議は、規則で定めるところにより、優れた研究又は業績がある科学者のうちから会員の候補者を選考し、内閣府令で定めるところにより、内閣総理大臣に推薦するものとする。」

菅発言 「加藤陽子先生以外は知らない。」

3. 前衛としての学問と後衛としての使命

日本学術会議は、専門知を基盤とした社会の後衛としての使命を持つ

4. 日本学術会議を政府組織から外してはならない

〈獅子身中の虫〉を飼うことの大切さ 裸の王様を作らないために

**メキシコ湾の名称を
アメリカ湾に変更する**

**北米最高峰のデナリ
を
マッキンリーに戻す**

**グリーンランドは
アメリカが所有すべき
だ**

**抵抗するのであれば
輸入製品に高い関税を課す**



**カナダは
アメリカの51番目の州に**

**パナマ運河を
アメリカに返せ**

**性別は男性と女性の2つの
み**

言葉の暴力

トランプ米大統領就任式、 IT大手トップが勢ぞろい

イーロン・マスク
X(旧ツイッター)CEO



マーク・ザッカーバーグ
メタ(旧フェイスブック)CEO

SNSの危険性
ファクトチェックの廃止
裸の王様を止められる
人材は？



ティム・クック
アップルCEO



スンダー・ピチャイ
グーグルCEO



ジェフ・ベゾス
アマゾン創業者

サイエンス、学問の自由への挑戦



政府効率化省（D O G E）

C D C（疾病対策センター）及びN I H（国立衛生研究所）など
計 1 3 の保健機関で 2 万人の人員削減計画

ハーバード大学への直接的圧力 （2025年3月）

反ユダヤ主義

行き過ぎたD E I（多様性・公平性・包摂性）

を理由に、90億ドル（約1.3兆円）の助成金見直しを表明

ハーバード大学の反論・要求拒否

「いかなる私立大学も連邦政府に乗っ取られることがあってはならない」

政府による23億ドル（約3300億円）の助成金凍結

言葉の危機的状況

民主主義 demos（民衆） kratia（権力）

誰もが自由にものが言えて、少数者の意見、あるいは都合の悪い意見が圧殺されないシステム

言葉こそ民主主義を支える根幹

民衆の権力＝ことば

言葉はたやすく奪われる

なによりも先に言葉が奪はれて言葉が民衆を追ひ立てるのだ

永田 和宏

言葉の危機的状況

言葉はたやすく奪われる

① 言論抑圧

「言論抑圧が激化すればするほど、それに対する告発は公の場から姿を消していったのである。」

「ある一定傾向の政治的見解を持つ言論人が、一人、また一人と、オピニオン雑誌や新聞など、影響力の大きい媒体から、いつの間にか姿を消す時こそが問題である。

しかし、消えていった人の声は聞くことができない。沈黙させられている人は、沈黙させられているという事実についても発言することができない。まさしくそこに、言論抑圧という現象が、大半の人々には認知されにくい、ひとつの大きな理由がある。

『言論抑圧—矢内原事件の構図』 将棋面貴巳

言葉の危機的状況

言葉はたやすく奪われる

① 言論抑圧

② 言葉に対する不感症

意図的な失言 脱感作 免疫寛容

石破茂 「デモはテロと同じだ」 2013

三原順子 「八紘一字」 2015

杉田水脈 「（LGBTの）彼ら彼女らは子供を作らない、
つまり生産性がない」 2018

馴らされてゆく言葉こそが怖い初めは誰もが警戒するが

永田 和宏

言葉の危機的状況

言葉はたやすく奪われる

① 言論抑圧

② 言葉に対する不感症

意図的な失言 脱感作 免疫寛容

③ 自粛という形の萎縮

隣組監視装置の脅威・できれば関わりあいたくない

高知の土佐電鉄「守ろう9条」のスローガン

市民（を装った誰か）からの抗議 自粛 2014

自粛とふたとへばそんな迎合がすぐそこにもう見えるではないか
永田 和宏

言葉の危機的状況

言葉はたやすく奪われる

① 言論抑圧

② 言葉に対する不感症

意図的な失言 脱感作 免疫寛容

③ 自粛という形の萎縮

隣組監視装置の脅威・できれば関わりあいたくない

④ オールマイティの言葉の脅威

反対しづらい耳触りのいい言葉への警戒

戦前の「非国民」「国賊」

「国益」「積極的平和主義」

言葉の危機的状況

言葉はたやすく奪われる

① 言論抑圧

② 言葉に対する不感症

意図的な失言 脱感作 免疫寛容

③ 自粛という形の萎縮・忖度

隣組監視装置の脅威・できれば関わりあいたくない

④ オールマイティの言葉の脅威

反対しづらい耳触りのいい言葉への警戒

⑤ 無関心・忘却という形の許容

大衆の受容能力は非常に限られており、理解力は小さいが、そのかわり

に忘却力は大きい。

アドルフ・ヒトラー『わが闘争』

(声明)

戦争を目的とする科学の研究には絶対従わない決意 の表明

1950.4.28

日本学術会議第6回総会

日本学術会議は、1949年1月、その創立にあたって、これまで日本の科学者がとりきたった態度について強く反省するとともに科学文化国家、世界平和の礎たらしめようとする固い決意を内外に表明した。

われわれは、文化国家の建設者として、はたまた世界平和の使として、再び戦争の惨禍が到来せざるよう切望するとともに、さきの声明を実現し、科学者としての節操を守るためにも、戦争を目的とする科学の研究には、今後絶対に従わないというわれわれの固い決意を表明する。

- ・ 科学者は前衛であるとともに、後衛でもある

前衛として世界を切り開く イノベーション 人々の生活に役に立つ
後衛として

この一線を越えてはならぬという線を、
科学的根拠、専門知をもってチェック。

- ・ 批判は一人がやっても力を持たない 無視・弾圧

個々の専門知が総合知としての見解を表明できるのは学術会議という場があるからこそ

- ・ 学術会議を法人化

権力構造の内部に、チェック機構を置いておいてこそ、その意味はある
外部に置けば、言いたい奴は言っておけとなって何の力も持たない。

内部からの批判にいかに耳を傾けられるか = 民主主義の基本中の基本

- ・ 「知る」ということに謙虚にありたい

「知る」とは、そのことさえも知らなかった自分を「知る」ことである